

令和5年度

行政政策学類

学校推薦型選抜

小論文  
問題冊子

時間 90 分

---

注意事項

---

1. 試験開始の合図があるまで、この冊子を開いてはいけません。
2. 問題冊子はこの表紙を除いて、1枚です。  
また、この冊子とは別に資料集、解答用紙、下書き用紙があります。  
印刷不鮮明の箇所などがあれば、監督者に申し出て下さい。
3. 解答用紙の受験番号欄には、必ず、受験番号を記入して下さい。
4. 解答は、別紙の解答用紙の解答欄に横書きで記入して下さい。
5. 解答用紙は持ち帰らないで下さい。問題冊子及び資料集、下書き用紙は持ち帰って構いません。

<資料>は、吉永明弘『はじめて学ぶ環境倫理 未来のために「しくみ」を問う』（筑摩書房、2021年）の「第3章 地球温暖化はなぜ止められないのか」である。資料を読んで、下記の設問に答えなさい。

- (1) 傍線部①「私たちの社会はこれまで分配における公平性の問題をこの方法で回避してきた」とはどういうことか、また、それにはどのような問題があるか、説明しなさい。

(1行20字詰め、10行以内)

- (2) 傍線部②「しかし、このパリ協定のもとでCO<sub>2</sub>の削減がうまくいくかどうかは分かりません」と筆者が述べている理由と、それに対する筆者の考える対策について、説明しなさい。

(1行20字詰め、15行以内)

- (3) 傍線部③「そのような社会」について説明した上で、そうした社会において自分たちに何ができるか、あなたの考えを述べなさい。

(1行20字詰め、25行以内)

(注意)

解答にあたっては、解答用紙の1マスに1字を使い、句読点、引用符、括弧などはいずれも1字として扱うこと。ただし、算用数字およびアルファベットは1マス2字とする。書き出しおよび行を改めたときは、1マス空けること。

# 令和5年度入学試験 小論文「出題意図」

## (入試情報公開用)

### 行政政策学類 学校推薦型選抜

本問題は、吉永明弘『はじめて学ぶ環境倫理 未来のために「しくみ」を問う』(筑摩書房、2021年)の一部を資料として用い、受験生の読解や要約の力、論理的思考力や論述力を問うものである。

資料において、筆者は、地球環境問題を資源・エネルギー・廃棄物排出量などの「分配」の問題として捉え、地球温暖化を止めるという難しい課題とどう向き合っていくべきかを論じている。環境倫理学における「環境正義」とは「分配」の公平性を考えることであるとし、身近な例を紹介しながら、これまで行われてきた地球温暖化への対応の問題点を指摘し、大きな方向転換が必要であると述べている。

設問(1)は、資源・エネルギー・廃棄物排出量などの従来の「分配」の方法とその問題点を理解し、筆者の意図を捉えることができているか、読解力と要約力をみるものである。

設問(2)は、パリ協定の弱点を理解し、CO<sub>2</sub>削減の実現のために、どのような策を取る必要があるかを説明させるもので、読解力と要約力を問うものである。

設問(3)は、社会的アクションを起こしにくい、「一人一人主義」に頼りがちな日本の社会について、本文に則してまとめた上で、環境問題を解決するためにできることは何か、自分の考えを論理的・説得的に文章で記述させることで、読解力と要約力、論述力をみるものである。

令和5年度  
行政政策学類  
学校推薦型選抜

小論文  
資料集

時間 90分

注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、この冊子を開いてはいけません。
2. 資料集はこの表紙を除いて、7枚です。  
印刷不鮮明の箇所などがあれば、監督者に申し出てください。

この部分に記載されている文章については、著作権法上の問題からお見せすることができませんのでご了承ください。

この部分に記載されている文章については、著作権法上の問題からお見せすることができませんのでご了承ください。

この部分に記載されている文章については、著作権法上の問題からお見せすることができませんのでご了承願います。

この部分に記載されている文章については、著作権法上の問題からお見せすることができませんのでご了承ください。



この部分に記載されている文章については、著作権法上の問題からお見せすることができませんのでご了承ください。

この部分に記載されている文章については、著作権法上の問題からお見せすることができませんのでご了承ください。

この部分に記載されている文章については、著作権法上の問題からお見せすることができませんのでご了承ください。